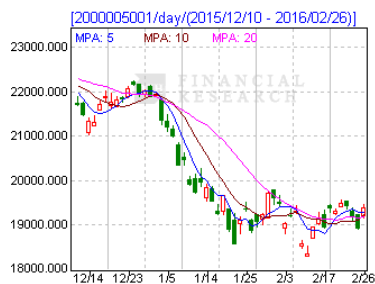


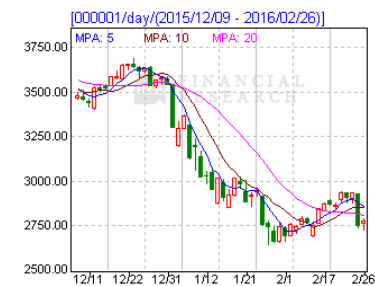


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	16,639.97	-57.32	-0.34	1.51	-4.51	17,425.03
NASDAQ	4,590.47	8.27	0.18	1.91	-8.33	5,007.41
日経225	16,188.41	48.07	0.30	1.39	-14.95	19,033.71
上海総合	2,767.21	25.97	0.95	-3.25	-21.81	3,539.18
滬深300 (CSI300)	2,948.03	29.28	1.00	-3.39	-20.99	3,731.01
ハンセン	19,364.15	475.40	2.52	0.41	-11.64	21,914.40
H株	8,034.30	162.36	2.06	-0.96	-16.84	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.4%高と小幅続伸、上海総合指数は3.2%安

ハンセン指数は1週間で0.4%高と小幅に続伸。週初は本土市場の上昇を受けて堅調なスタートとなったが、23-25日は海外株や原油価格の値動きに左右される不安定な展開。25日にはハンセン指数が節目の19000ポイントを下回ったが、26日には主力株を中心に買い戻しが入り同水準を回復した。上海総合指数は1週間で3.2%安と3週ぶりに反落。週前半は堅調に推移したが、人民元の先行き不安で25日に急落。全国人民代表大会を前に政策期待が下支え要因となったが、春節後の上昇分をほぼ帳消しにした。

今週の展望:香港市場は週末にかけ神経質な展開に、全人代などイベント集中

香港市場は週末にかけて神経質な展開が見込まれる。1日に中国の製造業PMI、4日に米国の雇用統計が発表されるほか、3日に全国政治協商会議、5日に全国人民代表大会の開幕と米中の重要イベントが相次ぐ。全人代の開幕に向け政策期待は高まりやすいが、週末に米雇用統計の発表も控えることから慎重姿勢が強まる公算が大きい。原油相場の動向にも引き続き警戒が必要。一方、本土市場は戻りを試す展開か。全人代を前にした政策期待に加え、追加金融緩和への期待が再び高まっていることが追い風になりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 東亜銀行(00023)	24.85	6.20
2 キャセイ・パシフィック(00293)	12.82	6.13
3 ハンセン銀行(00011)	132.10	4.59
4 新鴻基地産発展(00016)	88.00	3.59
5 チャイナ・ユニコム(00762)	9.06	3.54
6 AIAグループ(01299)	40.65	3.30
7 香港鉄路(00066)	37.15	3.19
8 新世界発展(00017)	6.42	3.05
9 信和置業(00083)	10.90	2.64
10 中国中信(00267)	10.92	2.44

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 康師傅控股(00322)	7.61	-9.30
2 華潤ビール(00291)	12.42	-5.48
3 中国旺旺(00151)	5.31	-3.45
4 恒安国際集団(01044)	61.95	-2.98
5 中国蒙牛乳業(02319)	11.40	-2.56
6 長江実業地産(01113)	40.45	-2.06
7 華潤電力控股(00836)	13.02	-1.96
8 中国神華能源(01088)	11.06	-1.78
9 中国海外発展(00688)	23.15	-1.70
10 中国人寿保険(02628)	17.36	-1.59

▼今週の期待材料

- ◆G20 財務相・中央銀行総裁会議が27日に閉幕、市場の安定化に向けてあらゆる政策を総動員
- ◆中国人民銀行の周小川行長、足元の金融政策について「穏健でやや緩和的」との認識を示す
- ◆全国政治協商会議と全国人民代表大会が開幕へ、開幕を前に改革関連銘柄などに注目集まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆1日に2月の中国製造業PMIが発表に、予想下回る弱い結果なら中国経済に対する先行き不安高まる公算
- ◆原油相場の先行きに依然不透明感くすぶる、WTIが再び30米ドル割り込むようなら相場の波乱要因に
- ◆香港株ファンドからの資金流出が7週連続に、ジェフリーズの統計で直近1週間の流出額は5500万米ドル

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 香港証券取引所 (00388) : 2日に15年本決算を発表、市場予想は55%の増益
- ☆ 越秀交通基建 (01052) : 子会社8社の1月の通行料収入は21%増、通行量も28%増
- ☆ BYD (01211) : 15年本決算の速報値は純利益6.5倍、会社見通しの上限近くで着地
- ☆ 新疆金風科技 (02208) : 15年本決算速報値は56%増益、風力タービンの販売が拡大
- ◇ PCCW (00008) : 15年本決算は31%減益、コア利益は23%増を確保
- ◇ 新鴻基地産 (00016) : 15年12月中間決算は6%減益、コア利益は10%増を確保
- ◇ 四環医薬 (00460) : 29日に11カ月ぶり取引再開、取引再開の条件をすべてクリア
- ◇ 上海電気集団 (02727) : 独機械大手Manzに資本参加、最大で29.9%取得へ
- ★ グレート・イーグル (00041) : 1日に15年本決算を発表、市場予想は24%の減益
- ★ 北京汽車 (01958) : 15年本決算は26.5%減益の見通し、自動車販売の不振響く

▼今週の主なイベント

- 3月1日(火)
- 【中国】製造業PMI、財新製造業PMI(2月)
- 3月3日(木)
- 【中国】全国政治協商会議開幕
- 3月5日(土)
- 【中国】全国人民代表大会開幕

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。